

対象国の条件:

研修コース番号:201984850-J002

案件番号:201984850

主分野課題:資源・エネルギー/エネルギー供給

副分野課題:

使用言語:英語

案件概要

天然ガス資源の輸入国側である我が国の高効率火力発電技術やその他の天然ガス利用、天然ガス輸送・貯蔵施設（LNG含む）等の先進技術、さらには天然ガス売買契約に関する理解を深め、当該国の一層の天然ガス開発利用の推進に資するとともに、天然資源開発は需要家の確保が非常に重要であるため、我が国需要者側との関係構築に貢献する。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

天然ガス資源開発・輸出または天然ガス利用を行う途上国の参加者が、日本の事例の理解を深めて、自国の天然ガス利用技術を含む包括的な開発に向けた行動計画を作成し、自国において組織的に共有、検討されるとともに、天然資源開発は需要家の確保が非常に重要であるため、我が国天然ガス需要者との関係構築を深化させる。

【対象組織】

天然ガス資源輸出または天然ガス利用を行う途上国の資源輸出担当省・公社

【対象人材】

天然ガス資源輸出または利用担当省・公社の意思決定に関与する幹部または幹部候補

【成果】

- ・我が国燃料消費構造や資源確保政策、天然ガス下流部門の開発、利用施策の理解。
- ・高効率火力発電所及び燃料貯蔵施設、更には燃料の需要家であるガス、化学、鉄鋼メーカー等の関連企業の視察を通じた、本邦における天然ガス利用先端技術の理解促進。
- ・天然ガス売買契約に関する基礎知識の習得。
- ・技術移転の端緒となる関係の構築。

内 容

- 1 カントリーレポート発表
- 2 我が国燃料消費構造や資源確保政策、天然ガス下流部門の開発、利用施策の講義、理解
- 3 高効率火力発電所及び燃料貯蔵施設、更には燃料の需要家であるガス、化学、鉄鋼メーカー等の関連企業の視察、先端技術理解
- 4 天然ガス売買契約に関する基礎知識の習得
- 5 講義、視察結果を踏まえたファイナルレポートの作成・提出

本邦研修期間

2019/9/16～2019/10/2

担当課題部

産業開発・公共政策部

所管国内機関

JICA関西（業務二）

関係省庁

実施年度

2019～2021

主要協力機関

調整中

特記事項
及び
ホームページ

この研修コースは、国連持続可能な開発目標（SDGs）のうち、7（エネルギーをみんなに、そしてクリーンに）、9（産業と技術革新の基盤を作ろう）、13（気候変動に具体的な対策を）、17（パートナーシップで目標を達成しよう）の目標の達成を目指すものです。